

平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年9月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績（平成28年5月1日～平成28年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年4月期第1四半期 | 129,043 | 0.7 | 6,524 | 52.1 | 5,722 | 19.2 | 3,578 | 49.6 |
| 28年4月期第1四半期 | 128,182 | 8.0 | 4,289 | 95.4 | 4,798 | 130.4 | 2,391 | 155.0 |

(注) 包括利益 29年4月期第1四半期 1,688百万円 (△51.7%) 28年4月期第1四半期 3,494百万円 (201.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年4月期第1四半期 | 29.14 | 29.06 |
| 28年4月期第1四半期 | 19.47 | 19.43 |

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年4月期第1四半期 | 290,050 | 126,205 | 43.2 |
| 28年4月期 | 287,702 | 127,215 | 43.9 |

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 125,251百万円 28年4月期 126,209百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年4月期 | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 29年4月期 | — | — | — | — | — |
| 29年4月期（予想） | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 平成29年4月期の連結業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 255,400 | 1.0 | 12,100 | 20.8 | 11,000 | 11.7 | 6,700 | 17.4 | 53.16 |
| 通期 | 471,500 | 1.3 | 20,000 | 16.0 | 19,400 | 28.7 | 11,800 | 37.0 | 93.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注意事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年4月期1Q | 89,212,380株 | 28年4月期 | 89,212,380株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年4月期1Q | 535,579株 | 28年4月期 | 535,579株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年4月期1Q | 88,676,801株 | 28年4月期1Q | 88,676,801株 |

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年4月期第1四半期 | 29.14 | 29.06 |
| 28年4月期第1四半期 | 19.47 | 19.43 |

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

| (基準日) | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年4月期 | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 |
| 29年4月期 | — | | | | |
| 29年4月期(予想) | | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

| | 1株当たり当期純利益 (連結) |
|-----------|--------------------|
| 第1種優先株式 | 円 銭 |
| 第2四半期累計期間 | 58.16 |
| 通期 | 103.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年4月期1Q 34,246,962株 28年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

29年4月期1Q 112,158株 28年4月期 110,038株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年4月期1Q 34,136,165株 28年4月期1Q 34,143,100株

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年5月1日から平成28年7月31日まで）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりましたが、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気の下振れに加え、英国のEU離脱問題などの影響もあり、先行きの不透明感が高まっております。

飲料業界におきましては、各社の販売競争が継続するなか、天候に恵まれた地域はあったものの、消費者マインドには足踏みが見られ、経営環境はさらに厳しさを増しております。

このような状況の中、当グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、グループ一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,290億43百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益65億24百万円（前年同期比52.1%増）、経常利益57億22百万円（前年同期比19.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、35億78百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

| | |
|------------------|-----------------------|
| 売上高 | 1,290億43百万円（前期比0.7%増） |
| 営業利益 | 65億24百万円（前期比52.1%増） |
| 経常利益 | 57億22百万円（前期比19.2%増） |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 35億78百万円（前期比49.6%増） |

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

国内においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、社内資格制度である「ティーテイスター資格」を保有する社員自ら、急須で入れたお茶の実演販売や試飲会などの活動を通して、高価格帯のパック茶販売を強化しております。苦み、渋みが少なく、甘みを愉しめる「水出し緑茶」を積極的に提案し、夏場のリーフ市場拡大を行ってまいりました。またプレミアムティーバッグシリーズをはじめとして、パウダータイプのインスタント緑茶などの手軽にご賞味いただける簡便性商品が、国内のみならず外国人観光客の皆様にもご好評をいただいております。

飲料（ドリンク）製品につきましては、主力製品であります「お〜いお茶 緑茶」において、平成28年5月より、鮮度にこだわり香り、旨み、コクを高めた「2016年産『旬』新茶入り お〜いお茶 緑茶」を順次展開いたしました。当グループでは、「茶産地育成事業」を推進しており、主に九州地区において、耕作放棄地を積極活用するとともに、生産性と環境保全を両立した大規模茶園経営のもと高品質で安定した原料調達を実現しております。この「茶産地育成事業」によって香りにこだわって育てられた「お〜いお茶専用茶葉」の使用量を増やし、急須で入れたお茶本来の香りとおいしさを追求するとともに、「お〜いお茶」ブランドの更なる価値向上を図ってまいります。

日本茶・健康茶・中国茶飲料におきましては、主力製品であります「健康ミネラルむぎ茶」が好調に推移しているほか、「黄金烏龍茶」をはじめとした特定保健用食品につきましても好調に推移いたしました。

コーヒー飲料におきましては「TULLY'S COFFEE」ブランドシリーズが、ボトル缶を中心に引き続きご好評をいただき、更に販売数量を伸ばすなど、業績の向上に寄与しております。

このような販売活動を取り巻く厳しい状況において、小型容器を中心とした主力ブランド強化、更なる原価低減、費用対効果を意識した販売促進費の更なる管理強化、各エリア毎の業績管理強化を行い、引き続き収益性の改善に努めてまいります。

チチャス(株)においては、広島県を中心とした乳類及び発酵乳等の積極的な販売に加え、当社との共同開発によるブランドシナジーを拡大しております。また、ネオス(株)は、西日本に強い販売チャネルを持っており、当グループの自動販売機事業に関して、継続的に収益性を高める基盤づくりを行っております。

海外においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、「グローバルブランド」で展開する抹茶グリーンティーの販売により、米国、豪州、東南アジアを中心に積極的な海外展開を行ってまいりました。

飲料（ドリンク）製品につきましては、ITO EN(North America) INC. において、和食や抹茶の世界的なブームや健康志向の高まりを背景に、「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。また、米国を中心にコーヒー豆の栽培から販売までを行うDistant Lands Trading Company, Inc. においては、主要顧客であるフードサービスチェーンへの当グループ製品の販売など、引き続きシナジー効果を追求してまいります。

2020年に東京で開催される「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて、国内外において、茶葉（リーフ）製品および飲料（ドリンク）製品の積極的な販売活動を継続していくとともに、当社独自の「茶畑から製品まで」のビジネスモデルを最大限に活かし、世界に健康で豊かな食生活への新たな価値を提供していくため、「伊藤園」から世界の「ITO EN」として、さらなるブランドの確立を目指してまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は1,200億38百万円（前年同期比0.1%増）となり、営業利益は56億72百万円（前年同期比58.9%増）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、チョコリスタ（SHAKE）等の季節商品を中心にドリンク類が好調なことに加え、パスタなどのデリカ類やサンドイッチ類につきましても、ご好評をいただいております。また、新規出店も順調に進み、総店舗数は651店舗となりました。引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は74億21百万円（前年同期比10.2%増）となり、営業利益は8億88百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

<その他>

Mason Distributors, Inc.におきましては、サプリメント販売が好調に推移しております。

この結果、売上高は15億84百万円（前年同期比6.8%増）となり、営業利益は2億84百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

【資産】

資産は前連結会計年度末と比較して23億47百万円増加し、2,900億50百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「現金及び預金」が77億92百万円減少、「受取手形及び売掛金」が69億71百万円増加、「商品及び製品」が49億43百万円増加、「のれん」が10億86百万円減少したことによるものです。

【負債】

負債は前連結会計年度末と比較して33億57百万円増加し、1,638億44百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が46億61百万円増加、「未払費用」が30億69百万円増加、「未払法人税等」が17億37百万円減少、「賞与引当金」が15億58百万円減少、「リース債務」が10億10百万円減少したことによるものです。

【純資産】

純資産は前連結会計年度末と比較して10億9百万円減少し、1,262億5百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「利益剰余金」が「親会社株主に帰属する四半期純利益」により35億78百万円増加、「剰余金の配当」により26億26百万円減少したことと、「為替換算調整勘定」が19億12百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、今回見直しをせず据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更

（耐用年数の変更）

当グループが保有する工具、器具及び備品並びにリース資産のうち、自動販売機については、従来、耐用年数を5～6年として減価償却を行ってきましたが、当第1四半期連結会計期間において、耐用年数を8年に見直し、将来にわたり変更しております。

当グループでは、従前より高性能な自動販売機の導入を進めてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間において、高性能な自動販売機が長期間使用できることが顕在化いたしました。これにより、従来の耐用年数と経済的使用可能予測期間との乖離が明らかになったことから、8年にわたって費用配分することが当グループの実態をより適切に反映できると判断しております。

この変更により、従来と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益が892百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ884百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 53,259 | 45,466 |
| 受取手形及び売掛金 | 53,553 | 60,524 |
| 商品及び製品 | 27,074 | 32,018 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,981 | 8,182 |
| その他 | 17,752 | 16,999 |
| 貸倒引当金 | △105 | △94 |
| 流動資産合計 | 159,517 | 163,097 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 19,593 | 21,135 |
| 土地 | 20,644 | 20,454 |
| リース資産(純額) | 29,154 | 29,030 |
| その他(純額) | 11,625 | 10,831 |
| 有形固定資産合計 | 81,018 | 81,451 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 20,179 | 19,092 |
| その他 | 6,975 | 6,534 |
| 無形固定資産合計 | 27,154 | 25,627 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 20,336 | 20,193 |
| 貸倒引当金 | △323 | △319 |
| 投資その他の資産合計 | 20,012 | 19,873 |
| 固定資産合計 | 128,185 | 126,952 |
| 資産合計 | 287,702 | 290,050 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 33,353 | 38,015 |
| 短期借入金 | 1,801 | 1,796 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| リース債務 | 10,442 | 10,197 |
| 未払費用 | 23,194 | 26,263 |
| 未払法人税等 | 3,945 | 2,207 |
| 賞与引当金 | 3,284 | 1,725 |
| その他 | 4,734 | 4,639 |
| 流動負債合計 | 100,756 | 104,845 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 29,653 | 29,562 |
| リース債務 | 16,630 | 15,865 |
| 退職給付に係る負債 | 9,668 | 9,766 |
| その他 | 3,777 | 3,803 |
| 固定負債合計 | 59,729 | 58,998 |
| 負債合計 | 160,486 | 163,844 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 19,912 | 19,912 |
| 資本剰余金 | 18,640 | 18,640 |
| 利益剰余金 | 94,311 | 95,262 |
| 自己株式 | △1,302 | △1,306 |
| 株主資本合計 | 131,562 | 132,509 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,828 | 1,784 |
| 繰延ヘッジ損益 | △45 | △27 |
| 土地再評価差額金 | △6,053 | △6,053 |
| 為替換算調整勘定 | 137 | △1,775 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,219 | △1,186 |
| その他の包括利益累計額合計 | △5,352 | △7,258 |
| 新株予約権 | 39 | 54 |
| 非支配株主持分 | 965 | 900 |
| 純資産合計 | 127,215 | 126,205 |
| 負債純資産合計 | 287,702 | 290,050 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 128,182 | 129,043 |
| 売上原価 | 69,734 | 68,660 |
| 売上総利益 | 58,448 | 60,383 |
| 販売費及び一般管理費 | 54,158 | 53,858 |
| 営業利益 | 4,289 | 6,524 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 32 | 11 |
| 受取配当金 | 37 | 38 |
| 為替差益 | 617 | — |
| 持分法による投資利益 | 31 | 14 |
| その他 | 130 | 138 |
| 営業外収益合計 | 848 | 202 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 306 | 235 |
| 為替差損 | — | 659 |
| その他 | 33 | 109 |
| 営業外費用合計 | 339 | 1,004 |
| 経常利益 | 4,798 | 5,722 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産廃棄損 | 3 | 8 |
| 投資有価証券売却損 | — | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 3 | 0 |
| 減損損失 | — | 20 |
| 災害による損失 | — | 32 |
| 特別損失合計 | 7 | 61 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,792 | 5,662 |
| 法人税等 | 2,346 | 1,995 |
| 四半期純利益 | 2,445 | 3,666 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 53 | 87 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,391 | 3,578 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,445 | 3,666 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 361 | △44 |
| 繰延ヘッジ損益 | △14 | 17 |
| 為替換算調整勘定 | 649 | △1,966 |
| 退職給付に係る調整額 | 20 | 33 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 32 | △17 |
| その他の包括利益合計 | 1,049 | △1,977 |
| 四半期包括利益 | 3,494 | 1,688 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,429 | 1,672 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 65 | 16 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成27年7月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 合計 |
|-------------------------------|------------------|--------|-------|---------|------|---------|
| | リーフ・ドリンク 関連事業 | 飲食関連事業 | その他 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 119,966 | 6,733 | 1,482 | 128,182 | — | 128,182 |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 76 | 173 | 685 | 935 | △935 | — |
| 計 | 120,043 | 6,906 | 2,168 | 129,118 | △935 | 128,182 |
| セグメント利益 | 3,570 | 957 | 243 | 4,771 | △481 | 4,289 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△485百万円、セグメント間取引4百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 合計 |
|-------------------------------|------------------|--------|-------|---------|------|---------|
| | リーフ・ドリンク 関連事業 | 飲食関連事業 | その他 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 120,038 | 7,421 | 1,584 | 129,043 | — | 129,043 |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 83 | 4 | 671 | 759 | △759 | — |
| 計 | 120,122 | 7,425 | 2,255 | 129,803 | △759 | 129,043 |
| セグメント利益 | 5,672 | 888 | 284 | 6,845 | △321 | 6,524 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△370百万円、セグメント間取引49百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。